

# 広報 **おおの**

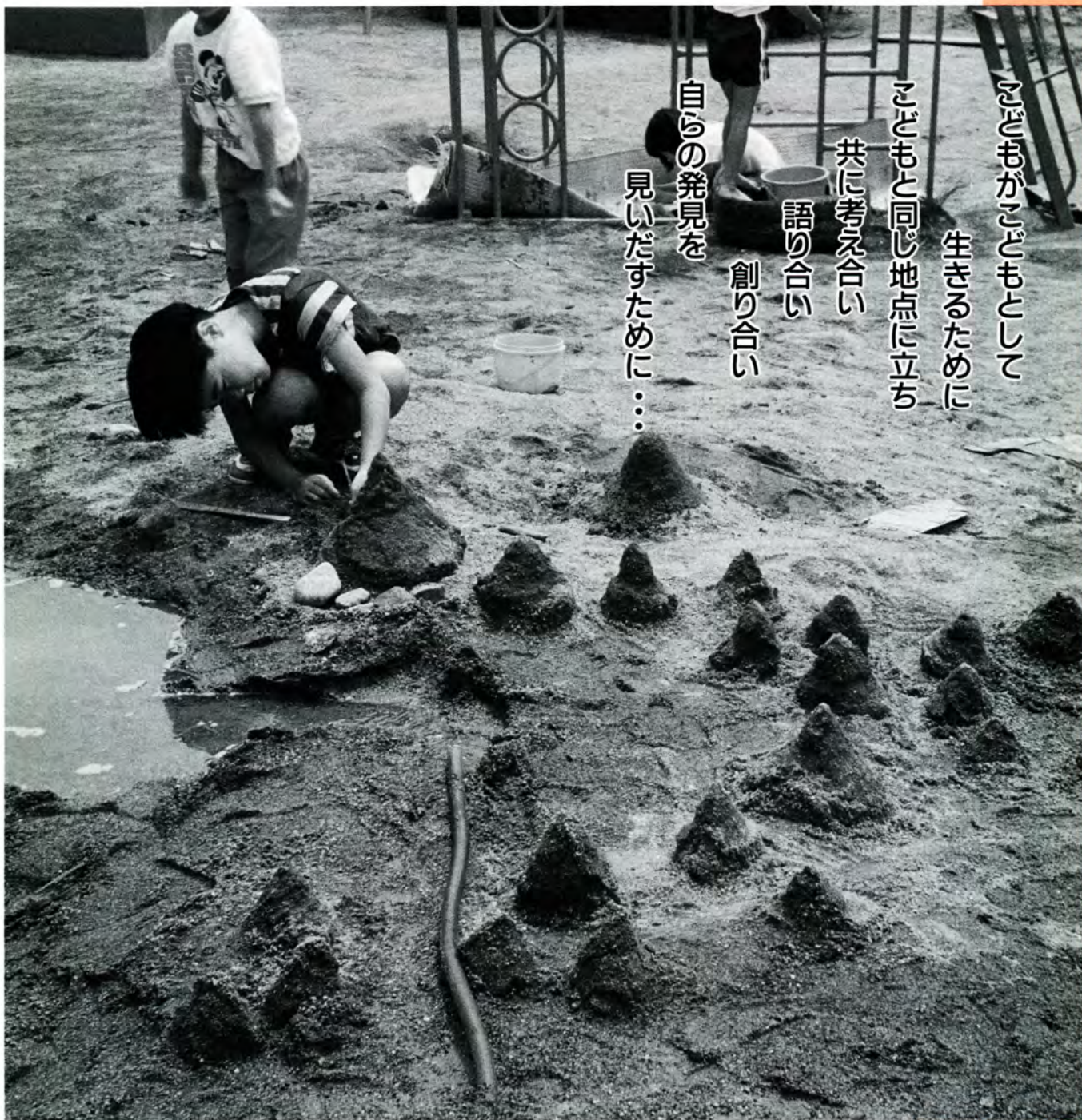
平成5年(1993年)

**10**月号  
No.577



**三百余年の伝統  
「里神楽」奉納**

(9月15日 稲郷・八幡神社祭礼)



子どもが子どもとして

生きるために

子どもと同じ地点に立ち

共に考え合い

語り合い

創り合い

自らの発見を

見いだすために……

北部 義景 春日 あかね 荒島 六呂師

特集

# 根っこの保育

疑問から再出発した市立保育園



## 保母の心を動かしたものは

## 園児が訴えていたものは

市立保育園は、平成元年度から大きく保育目標を転換しました。長年にわたって、保育に携わってきた保母の考えを、大転換させたものは何だったのでしょうか。すっかり様変わりした市立保育園では、どんな保育が行われ、園児たちはどのように過ごしているのかをご紹介します。

保育は、集団生活の楽しさの中で、さまざまなことに興味を持たせ、自主・協調などを養うことがねらいとされています。特に四、五歳までの子どもの環境は、その子どもの生涯にとって、重要な時期といえます。

近年、厚生省の保育指針が改訂され、①幼児の主体的な生活②環境による保育③一人

ひとりの個性や特性に応じる保育④遊びを通しての総合保育を柱としています。

これは今、市立保育園が取り組んでいる「根っこの保育」の視点と同じです。



られました。こうして保母の目は、次第に園児たちの不自然な行動や態度に注がれるようになったのです。

の生き生きとした生命感あふれる表現が少ないのです。今までの保育をゼロから問い直す

現代の生活の中で生まれ育つ子どもたちに、何が必要か保育の中で何を獲得させねばならないかを十分に話し合いました。

砂遊びや土いじりは、汚れないように手先だけ。散歩に出かけても、ちよっと触る程度で深く関わろうとしない。こうした園児たちの動きは、自分の行動を自分で判断ができず、大人に依存している姿でした。

絵を見ても、形態や色彩などが概念的にとらえたものが多く見られます。子ども本来

に打ち込むなかで、主体的に物事に取り組む意欲や態度を身につけていくことを願い、平成元年度から取り組んだのが、「根っこの保育」だったのです。

### 視察や勉強会で

### 園児の不自然さを

自己表現ができず、受け身で行動することが多い小中学生。その原因となる芽は、幼児期につくられているといわれ、幼児教育を批判する声も少なくありません。

六カ所の保育園では、二百七十人の園児を二十六人の保母が受け持っています。こうした保育の問題に取り組むために、子どもの本質をとらえる研修会を、保母の間で定期的に行っていました。また、各地の保育園を視察したり、講師を招いての勉強会も続け

### 絵を持ち寄って研修する保母



## 根っこの保育

### 何をどう変えたのか

「根っこの保育」は、これまでの保育を一八〇度転換したと言っても過言ではありません。

何をしても許される、それどころか保育が笑顔で見ているのです。子どもたちは安心して、園舎の内や園庭を自由に動きまわります。自分の描きたいときに描く絵。気の合う仲間といふ場所を見つけて食べる食事。つまり、解放された空間が用意されたのと同じに、自分の意志で行動することが必要になりました。

平成元年度からスタートした「根っこの保育」の取り組みをご紹介します。

#### まず心の解放

今までの「してはいけないよ」という枠を取り除き、解放感と安心感を与えました。保育との信頼関係を深めながら、意図的に「こわす」「やぶる」「よごす」といった破壊活動を進めました。

この歩みのなかで、室内よりも外に出ることを好み、自然の中で好奇心を抱くようになるように

なり、伸び伸びと遊べるようになりました。

#### 自然の素材を用意

子どもたちは、自然との関わりの中で、生き生きと遊んでいます。

そこで、既存の玩具を取り除き、イメージをわかせて遊べるようにと「土」「水」「木」「石」を用意しました。これらの素材は、遊ぶほどに可能性があふれ、子どもたちの取り組みは次第に深くなっていました。試したり、こわしたり、工夫したりと遊びもバラエティに。そして、子どもの気持ちや感じたことが、こぼや絵にも素直に表現されるようになったのです。

▼あ〜 変なところ切ったよ



▲この池、もっと大きくしようか

▼ごはん食べたら続きをやろうね



さっきの虫、これじゃないの

### 共に生きる力を身につけ 遊びから養われる感性や創造力

子どもたちに任せる生活は、どんどん浸透していきました。自然に年齢の枠がなくなり、遊びの中に異年齢のグループができてきました。

虫をつかまえる三・四歳児やその虫のことを教える五歳児。手に虫をのせてもらって喜ぶ三歳未満児。虫を凶鑑で調べ合う姿。こんな情景があちこちで見られるます。

一人ではできないことが、仲間と力を合わせることでよってできることを知ります。自然の中での生き物との関わりが深まると、命の誕生から死に至るまでを体験し、弱い物を守り、いたわろうとする

気持ちが生まれます。

子どもが子どもとして生活する姿の中から、今までになく柔軟な感性や創造力が養われてきたといえます。

#### 反省を忘れず

#### 理解を得ながら前進

心の開放には、十分力を注いできました。年齢に応じた生活習慣や個々へのきめ細かい対応には、反省すべき点もいくつかあります。

市は「根っこの保育」のすばらしさを、市民のみならず深く理解していただき、子どもたちのためにも、さらに前進できるよう努力します。



神社で、死んでいるサギのひな鳥を見つけ  
 「死んでいる。かわいそうやな  
 お墓をつくってあげよう」  
 「死んでも魂あるんや」

数日後、神社の木の上でサギが飛びかうのを見て…

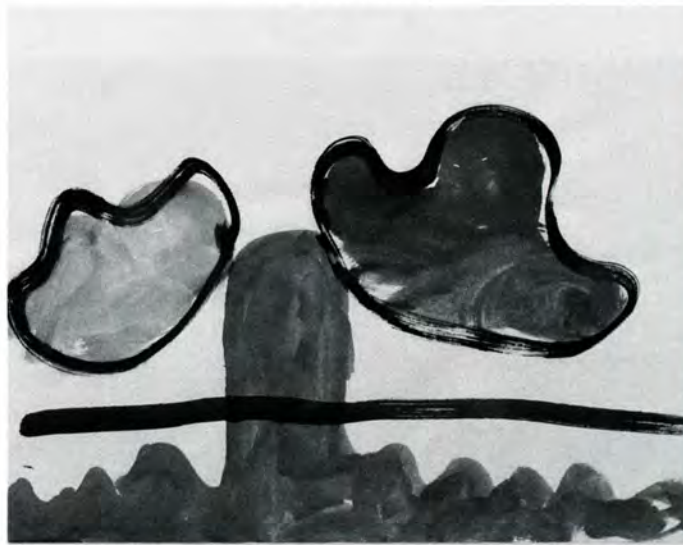
「おとうさん鳥とおかあさん鳥、  
 子どもの鳥探してるんや」

## 園児からの メッセージ

自然の中で遊びを発見し、それを広げ、さらに深めた子どもたちは、心を安定させ、その時々々に自らの想いを表現します。

### 造形

### 絵（五歳児）



まっすぐに伸びた線、波の表現に自分の思いが込められている。それに相対するかのように、ピンクと緑のユニークな形が、楽しさを感じさせる。

## 応援します「根っこの保育」



生き物に  
深い興味を

馬道ますみさん  
(矢)

あかね保育園に、次女がお世話になっています。保母さんは、危ないときしか口を出さず、じっと見守っています。遊びもけんかも自分達で解決しており、子ども同志で育つ力を身につけていると思います。根っこの保育でやりたいことをやって、自然な形で善悪を理解しているようです。

家で遊ぶときも、生き物に対する興味が深まっており、とてもうれしく思います。



父母との  
話し合いを

福田喜代美さん  
(春日1)

三人の子どもが、春日保育園を卒園しましたが、根っこの保育を受けたのは、三番目でした。学校に入学しても、のびのびと素直に自分の気持ちを出していると先生から言われます。自分の意志で遊び、工夫するという保育がよかったのだと思います。

保母と家庭とのコミュニケーションを増やし、根っこの保育に対する保護者の理解を、もっと深めてほしいものです。



楽しみに  
通園する長女

米村絹代さん  
(日吉町)

今年の四月から、長女が北部保育園に入りました。毎日、保育園に行くのを楽しみにしており、日曜日でもいきたがって困るほどです。私は、根っこの保育をしていることを知り、通園が遠くなるのを承知のうえで入園させました。

のびのびと子どもだけの世界を満喫して帰ってくる長女には、まったくストレスが感じられません。家庭で体験できないことをしていただけるので感謝したいです。

# 9月定例市議会

一般会計  
補正予算

## 7億7487万円を追加

当初からの累計額は136億6194万円に

第二百六十九回市議会定例会は、九月十三日から十二議案が審議され、二十四日に原案どおり可決されました。一般会計補正予算では、七億七千四百八十万円余りを追加。当初からの総額は百三十六億六千九百九十四万円となりました。

一般会計の主な歳出は次のとおりです。(★は新規事業)

### 総務費

★顕彰事業補助：七百万円  
名誉市民福田一氏の顕彰会事業補助

### 民生費

●精神障害者社会復帰施設補助：三百四十九万円  
「あけぼのの家」運営補助

●高齢者保健福祉積立金：一億四千四百万円  
高齢者の在宅福祉などに利子を運用

★住宅改造事業補助：四百八十万円

介護が必要な老人用住宅や重度身体障害者(児)用住宅の改造補助

### 衛生費

★公衆浴場設備整備事業補助：百五十万円

★市葬斎場進入道路改良事業：一千二百五十万円

### 農林水産業費

★水田園芸実践事業補助：七千八百七十四万円  
水田園芸実践集落とリーディング育成

●特用林産むらづくり事業補助：三百七十八万円  
しいたけ生産の拡大と産地化推進



●林業地域総合整備事業：四千五百五十四万円

林道三路線の整備と環境整備一地区

### 商工費

★「ふれあい産直市」出展事業：百二十九万円  
大阪国際見本市会場で開催

### 土木費

●交通安全施設整備事業：二千六百万円

### 教育費

★第四十四回中部日本スキー大会補助：二百万円

●エキサイト広場管理運営基金積立金：一億円

お座敷列車「大野市民号」

## 伊勢・志摩へ一泊二日の旅

受付は10月12日から

お待たせしました。今年のお座敷列車「大野市民号」は、伊勢・志摩方面一泊二日の旅と決まりました。

この事業は、越美北線利用促進事業の一環として行われるもので、費用の一部を市が助成します。申し込みの受け付けは、十月十二日から開始します。

開催日 11月18日(木)～19日

④(一泊二日)

行き先 伊勢・志摩方面

集合 午前8時40分までに

JR越前大野駅

対象 18歳以上の大野市民

(幼児の同伴はご遠慮ください)

定員 先着160人

費用 一人3万8000円

助成 一人7000円限度

申込方法 所定の申込用紙

と助成金交付申請書兼請求書に参加費用を添えて

提出。提出の際、印鑑と

助成金振込先の通帳等を持参

申込・問合せ先 市役所生活環境課(☎66・111

1内線461)

### 旅行日程

11月18日(木)

9時10分 大野駅発

(お座敷列車)

16時10分 鳥羽着

11月19日(金)

8時10分 宿舎発

バスで二見浦、伊勢神

宮外宮・内宮、ミキモ

ト真珠島など見学

13時59分 鳥羽発

(お座敷列車)

21時35分 大野駅着

宿舎 鳥羽シーサイドホテル

(☎0599・25・5

151)



## 七十三人が新しい施設を見学

二回目は10月29日、参加者募集中

八月二十日、市内の公共施設を市民に紹介する「市政バス」に、七十三人の市民が参加。御清水会館や内山家、エキサイト広場、麻那姫湖周辺施設などを見学しました。参加者らは、完成したばかりの公共施設で、職員からの説明に熱心に耳を傾けていました。秋の里（中島公園）では、山内市長も参加して、語る会も行われました。



▲熱心に見学する市政バス参加者  
▼中島公園で市長と語る会



日時 10月29日(金) 午前8時  
20分集合

集合場所 市役所前駐車場  
コース 市役所→御清水→武

家屋敷旧内山家→奥越ふれあい公園→冬の里(エキサイト広場)→春の里(麻那姫像)→夏の里(若生子大橋)→秋の里(中島公園)

→自然保護センター→市役所(午後4時30分着)

対象 団体行動に支障のない市民

定員 先着100人

参加費 無料

応募方法 はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記して、〒912大野市天神町1-1市役所秘書広報課広報広聴係まで(複数応募も可)または各公民館でも申し込みができます。電話での申し込みは(☎66・1111内線440・441)まで

その他 参加者には後日、決定通知書をお送りします。決りで、当日必ずご持参ください。昼食は主催者で用意。雨天の場合は雨具も持参。

締切 10月22日(金)

マナー守りの有効利用を



野村博子さん  
(有明町・60歳)

エキサイト広場やふれあい公園など、立派な施設が数多く完成していることに驚かされました。麻那姫湖周辺も見事に整備され、行政の力が奥地まで生かされていると感じました。私たち市民は、マナーを身につけるとともに、立派な公共施設を大いに活用し、ふれあいの輪を広げなければと感じました。

## 第30回奥越駅伝競走大会

### スタートは 奥越ふれあい公園

(中学男子) 6部 (中学女子)

コース 1・2部 36・2キロ (ふれあい公園→蕨生・7区) 3・6部 14キロ (ふれあい公園→阿難祖・5区)

参加費 選手一人1000円

締切 11月1日(月)

申込・問合せ先 市教育委員会体育課(〒912大野市天神町1-1(☎66・1111内線531)まで

日時 10月15日(金)午後7時

会場 エキサイト広場アリーナ

対象 一般市民(学生除く)

定員 先着50人

内容 ジグザグドリブル・急歩・反復横跳び・垂直跳び・握力

準備物 運動のできる服装

申込先 市教育委員会体育課(☎66・1111内線531)

\*バドミントン教室やソフトバレーボール教室も10月中旬ごろに計画しています。詳しくは、体育課までお問い合わせください。

## エキサイティング

# スポーツ

## 情報

## 保健推進員

### 行政と共に市民の健康づくり

#### 健康診査のPRや取りまとめ役

市が委嘱している保健推進員は、市内に百九十人おられ、市民と保健行政とのパイプ役として活躍されています。健康で快適な生活を送ることは、私たち市民の共通の願いです。健康づくりに関する情報提供や検診の手伝いなど、保健推進員の役割をご紹介します。

保健推進員の委嘱は、昭和六十二年からスタートしました。それまでは、母子保健推進員の委嘱が行われ、出産前後における母子の健康把握が行われていました。

現在の保健推進員は、各行政区ごとに一名の委嘱を行い、市民全体の健康づくりを目的としています。主な仕事を紹介しますので、みなさんのご協力をお願いします。

- ① 市が行う各種健康審査への受診を呼びかけ、多くの人に検診の必要性を訴える。
- ② 検診を受けた後、結果説明会への出席を勧める。
- ③ 検診会場では身長や体重を測定したり、名簿の記録などの作業を手伝う。
- ④ 健康づくりに関するイベントや講演会などのチラシなどを配布し、参加を呼びかける。
- ⑤ 毎月二月ごろに検診の申込表を取りまとめ、保健センターへ報告する。
- ⑥ 担当地区内の乳幼児や寝た



きりなどの情報を報告したり、健康に関する悩み相談窓口になる。

#### 区民自らの意識を高め

#### 組織的な活動を展開

清龍地区で長年にわたり、保健推進員を務める福田豊子さんに、仕事ぶりをお聞きしました。



▼日ごろの活動から、保健推進員の仕事を

のように感じていますか：今年で六年目になります。地区の人の役に立てるのなと思い、推進員になりました。研修会などで得た情報を伝え

たり、検診を受けるよう声をかけたりして、地区の人と親しみをもちながらがんばっています。

▼健康づくりについて、地区の人たちにどのようにアピールしたいですか：：：検診の大切さや健康づくりの意識を高めてもらうには、自分だけの活動では無理です。地区民の中から意識が盛り上がって組織的なつながりや活動ができたと思います。

健康に関心のない方はいないと思います。さまざま情報が増えています。保健推進員を通して保健行政のサービスを活用し、健康づくりにお役立てください。

### 子宮「体がん」検診受付中

子宮がんには、出口近くにできる「頸がん」と、奥にできる「体がん」の二種類があります。日本では頸がんがほとんどですが、最近では「体がん」が増える傾向にあります。

市では、次のとおり「体がん」検診を実施しますので、希望者は早めにお申し込みください。

**検診方法** 市が指定する医療機関で、細胞摂取検査  
**対象** 閉経期前後の女性  
**手数料** 1700円  
**定員** 先着50人  
**締切** 10月29日(金)  
**申込先** 市保健センターまで電話(☎65-7333)で

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター(☎65-7333)



# アドバイス

## 暮らしの

### コンピューターで あなたの生活設計を診断

長い人生において、誰もが願うことは「豊かで安定した生活を送りたい」ということではないでしょうか。今考えている生活設計で、将来あるいは老後の生活はどうなるかを、コンピューターが予測してくれます。ぜひ一度、診断を受けたうえで、長期の生活設計を見直してみませんか。

十月十七日は「貯蓄の日」です。老後を迎えたとき、自分の金融資産はどれくらいになるのかご存じでしょうか。それを知っておくには、まず各家庭の夢と目標を盛り込んだ、長期の生活設計を立てることが先決です。そのうえで設計に沿った暮らしを営むことが必要となります。

#### 生活設計の適否を 総合的に判断

日本銀行福井事務所（県貯蓄推進委員会事務局）には、生活設計の診断をするコンピューター

#### 「貯蓄の日」

十月十七日は古来、新穀を神にささげて感謝した日（神嘗祭）にあたります。勤労の実りである新穀を大切にすることが、貯蓄の精神にも相通することから「貯蓄の日」と定められました。

ターがあります。個人や家庭における今後の経済環境を予測し、適切なアドバイスをしてくれそうです。

このコンピューターによる生活設計診断では、所定の用紙に家族構成や家計の現状、子供の教育や住宅・車の購入などの主な支出計画などを記入します。これらのデータをコンピューターに入力すると二・三分で診断結果が出力され、生活設計の適否が総合的に判定されます。

コンピューターには、あらかじめ消費者物価の動向や賃金上昇率、住宅ローンの金利といった最新の経済データが入っているほか、不明確なデータに対する標準データも用意

されています。

今から十年後、二十年後そして老後と、自分の将来を見つめてみてはいかがでしょうか。

#### ★★お知らせ★★

おおの産業フェア（十一月六・七日）の「くらしのコーナー」では、コンピューターによる生活設計診断が無料で行われます。ぜひご利用ください。

詳しくは、県貯蓄推進委員会（〒910 福井市順化1-1-1 日本銀行福井事務所内 ☎0776-22-4495）までお問い合わせください。



消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ ☎66-1111 内線463 (市役所生活環境課内)

# ぐるーぷ登場

## 劇団「たんぽぽ」

### 手作り劇で子どもに童話の世界を

毎年、市教育委員会が主催する「大野市こども劇場」に出演している劇団「たんぽぽ」。今年も九月十九日に「ねずみのよめいり」と「うらしまたろう」などを演じました。

当初は、大野の民話を題材にした劇を、一般向けに演じていました。六年前に市の依頼を受けて、子ども向けの童話劇に取り組むことになり、「たんぽぽ」という劇団名をつけたそうです。

団員は四十数名で、全員女性。平均年齢は四十五歳位ですが、舞台での演技を見た限りでは三十歳代にしか見えません。子供も十五人ほど活動しているほか、舞台道具や衣装の製作などを手伝ってくれる団員の夫や有志の方もいるそうです。

劇の脚本などは、全員で話

し合って決めていきます。子どもたちに、童話の世界を分かりやすく紹介し、夢を与えることができるようにと心掛けています。

練習は、公民館や市民会館、有終会館でありますが「主婦業や勤めとの関係で、そろって練習できないのが悩みです。でも団員のなかには、思わぬ才能を持つ人がいて驚かされるんですよ。みんな劇に関心をもち、子どもたちの喜ぶ顔を見たいためにながらばっているようなものです」と話すりーダーの金森澄子さん（中野）。

取材に訪れた日は、市民会館大ホールの舞台で、子どもの踊りや



# 市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

### 今月のスナップ



ニホンカモシカがミニ動物園に（六呂師・円山公園）

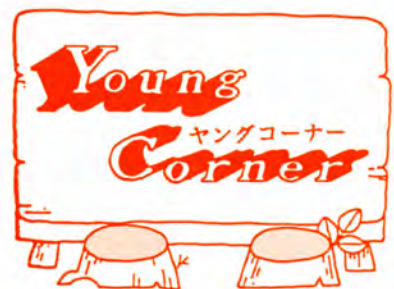
劇の練習が行われていました。衣装や舞台道具は、手作りとは思えないほど見事な出来映えでした。劇に興味のある方は、金森さん（☎65・2367）まで申し出てください。

### 手話の全国大会で二位

#### 将来は福祉の道を

「第十回全国高校生・大学生の手話によるスピーチコンテスト」の高校生の部で、大野東高校福祉教養科三年の大野留美さん（春日一丁目）が二位に入賞しました。

大会は、八月二十九日に



東京で行われ、高校生の部には十三人が挑戦。いずれも一次審査での作文、二次審査の課題文による手話で、全国から選ばれた人ばかりです。

手話の指文字を習ったのがきっかけとなり、開設したばかりの大野東高校福祉教養科に進みました。学校の実習やボランティア部で、障害者と接するようになり、手話サークル「名水」で本格的な手話を始めたそうです。

大会には「これからの私」の題で挑みました。緊張したという大野さんは、「とにかく、一つの手話を正しく、ていねいに、顔と体で表現することだけを考えました。入賞した瞬間は、とても信じられませんでしたね。同席した両親や中村先生もとても喜んでくれました」とその時の様子をうれしそうに話してくれました。

大野留美さん  
（大野東高校3年）

高校卒業後は、就職を希望しており、できれば福祉関係の仕事に就ければと思っています。大野さんの手話が、イベント会場などで見られる日も、そう遠くではなさそうです。



私はよく自転車  
を利用するため、  
歩道などを通行し

ます。先日も国道一五七号線  
の歩道のアスファルト修復を  
土木事務所に申し入れました  
が、迅速に対応していただき  
感謝しています。

市街地でも、歩道に段差が  
あるなど補修が必要なところ  
が何カ所も見受けられます。  
一例をあげれば、春日通りか  
ら大野保健所前の通りの北側  
や横町通りと五番通りのT字  
路周辺です。

## 私もひとごと

### 自転車を通る歩道、段差を最小限に

高齢者には、こうした段差  
は大きな障害になり、転倒す  
ることにもなり危険です。完  
全な補修はなかなか困難でし  
うが、できるだけ路面は均一  
になるようお願いします。



(出村 清・75歳・中据)  
道路や水路など  
の改修工事に伴う  
埋め戻し作業につ

うよう施工業者に指導してい  
ます。工事終了後、月日が経  
過するうちに、どうしてもそ  
の一部は、舗装が沈下する箇  
所が見受けられます。このた  
め、道路を横断する暗渠の構  
造物との段差、歩道や車道沿  
いの側溝ふたの破損などに  
ついては、安全確保のための道  
路パトロールを実施していま  
す。危険箇所については、速  
やかに適切な処置を取り、通

### 地域に密着した駐在所だよりを発行

#### 加藤 美代治さん(44歳・右近次郎)

今年の四月から、稲郷駐在  
所に赴任した加藤美代治さん

は、ユニークな駐在所だより  
「あまご」を発行し、住民に  
喜ばれています。

加藤さんは、十五年前に駐  
在所に勤務して以来、ずっと  
機関紙を発行しています。県  
警察本部主催のコンクールで  
は、5回余り最優秀賞に輝い  
ており、全国大会では警察庁  
外勤課長賞も受賞しました。  
機関紙は、約百五十部ほど  
作成し、各地区の班長さん  
を通じて回覧されます。最近  
はワープロを購入し、読みやす

く変化にとんだレイアウト  
になっています。

仕事の合間をぬって発行す  
る加藤さんは、「地域の人と顔  
馴染みになるために、機関紙  
を発行しているんです。巡回  
中に、一人暮らしのおばあちゃん  
たちから、楽しみに読んで  
ますよと言われるとうれしい  
ですね」と話しておられま  
した。

機関紙の発行で気をつけて  
いることは、地域の話題を豊  
富に取り入れること、専門用  
語を使わないこと、イラスト  
や変化のあるみだしをつける  
ことだそうです。加藤さんの  
次の挑戦は、写真入りの機関  
紙です。地域のみなさん、お  
楽しみに。



行者の安全確保に努めており  
ます。

このたび、ご指摘のありま  
した箇所につきましても、早  
急に現地確認を行い、最善の  
対応策を検討したいと思いま  
す。

(建設課長 谷内俊栄)

### 投稿規定

市政についての質問や意  
見などを、ハガキでお寄せ  
ください。「住所・氏名・年齢  
電話番号」を必ずお書きく  
ださい。紙上匿名は自由で  
すが、住所・氏名のないも  
のは採用できません。

原文を一部要約すること  
があります。

あて先は、〒912 大野市  
天神町一丁目 市役所秘書  
広報課広報広聴係」です。

## お知らせ

### ●ほくでん「手芸教室」

部屋のインテリアなどに、  
自然で素敵なコットンの「モ  
ザイクアート」を作ってみま  
せんか。だれにでも簡単に作  
れますので、気軽に参加して  
ください。

日時 10月17日(土)午後1時

会場 大野有終会館

定員 先着20人

参加費 1000円

申込先 北陸電力大野営業所

(66・4477)の両坂ま

で電話で

### ●「大野好酒連」発足

#### 広く会員を募集中

「日本酒の日」の10月1日  
に、「大野好酒連」が設立され  
ます。

同会は、健康で楽しい日本  
酒の飲み方を探求することを  
目的とするもので、今年には検  
定酒会、蔵元見学会、利き酒  
会などが計画されています。  
年会費は一万円程度で成人な  
ら誰でも会員になれます。

入会申し込みや問い合わせ  
は、平鍋金一さん(春日2-1  
14-18 ☎66・1151)まで  
どうぞ。

## 創立5周年を記念し 盛大に童謡フェスティバル



8月29日、「童謡の流れるまち大野」を愛する会が創立5周年を記念し、童謡フェスティバルを盛大に開催しました。創作童謡歌詞コンクールの表彰が行われた後、各地の合唱団が美しい歌声を披露。市民会館大ホールに詰めかけた会員や市民も、童謡の世界に酔いしていました。フィナーレは全員で「翼をください」を合唱しました。

秘書広報課広報広聴係 ☎66-1111

## 小型ポンプや消火器で 正確にすばやく消火



自衛消防クラブ練法大会が8月29日、市民グラウンドで開かれました。小型ポンプ車や消火器での消火作業が、正確に早くできるかを競うもので、地域や事業所などから17クラブが出場しました。大会に先立ち、10月6日の全国大会に出場する七板婦人消防隊が、日ごろの練習の成果を披露し、大きな拍手を浴びていました。

## 北陸の勤労青少年が、 六呂師で友情の輪

第十八回北陸地区勤労青少年ジャンボリー大会が、8月21日から奥越青少年の森で開幕。北陸三県から約二百人の若者や指導者が参加しました。同大会は、野外活動を通じて友情と連帯を深めるもので、大野市での開催は今回が初めて。参加者らは、ユニークなゲームやレクリエーションなどで、エネルギーを発散していました。



## 台風や豪雨に備え 山林災害パトロール

奥越地区土砂・なだれ災害予防対策連絡協議会は9月3日、山林の災害危険地域5カ所（大野・和泉）をパトロールしました。今年は、例年になく長雨が続き、戦後最大級の台風13号が接近しているとあって、参加者らは緊張した面持ち。現場では、図面と照らせ合わせながら、非常事態に備えての復旧作業なども検討していました。



## クイズを解きながら散策 「亀山たんけん隊」

青年会議所主催の「亀山たんけん隊」が8月29日に開かれ、親子連れなど約180人が挑戦しました。有終会館から大野城まで4キロのコースには、亀山周辺に関する25問のクイズが設定され、成績優秀者には賞品が授与されるというユニークな企画。参加者はクイズを見つけるたびに、相談したり、案内板を読んだりしていました。

# 話題の広場

# 話題の広場



## 「末永くお元気で」と市長が高齢者を慰問

敬老の日を前に、市長らが高齢者を慰問。今年訪問したのは、88歳79人と95歳11人、99歳2人の計92人。山内市長から「長寿はその家の宝です」と激励された川端ためさん（88歳・小矢戸）は、「ありがとうございます」と元気な声で応対。記念の額と電気毛布のプレゼントにうれしそうでした。



## お地藏様の復活祝い 23年ぶりにお祭り

石灯笼地藏尊祭りが9月4日、23年ぶりに復活しました。昨夏、地藏尊が亀山から里帰りのを機に、住民や郷土史家が祭礼も行おうと働きかけました。法要や大正琴、舞踊、太鼓は、台風の影響で人出もまばらでしたが、午後のもちまきには大勢の市民がつめかけ、紅白のもちを競って拾いました。

身近な話題をお知らせください。



## 有終西小4年2組で 「ごみサミット」開催

9月13日、保健所と有終西小学校4年2組の児童が「ごみサミット」を開催しました。環境衛生週間にちなみ、保健所がごみの実態を調査を進めました。ごみ増加の原因や減量対策などを、OHP（投影機）やグラフなどを使って報告。自分でできる減量を、まず実践するという意見が多く出されました。



## 留学生や研修生と 六呂師で国際テント村

大野青年会議所主催の国際テント村が9月11・12日、奥越青少年の森で開かれました。県内に住む外国人研修生や留学生75人と一般市民、青年会議所のメンバー45人が参加。夜のつどいはキャンプファイヤー、翌日はスポーツなどを楽しみました。ことばの壁は、日本語が話せる留学生などが、通訳を兼ねていました。



## 大高野球部の室内練習場 グラウンドの一角に完成

大野高校野球部の室内練習場が完成。9月12日、関係者や部員らが集まって落成式が行われました。練習場は甲子園出場の際、市民からの寄付金をもとに、後援会が4,542万円で建設。鉄骨平屋建て749平方メートルで、守備や打撃、投球練習ができる本格的な練習場。ネット裏では、早くも甲子園再出場を期待する声があがっていました。

# お知らせ

## 10月



院までお問い合わせください。

### 10月は 労働保険適用促進月間

労働保険（雇用・労災）は労働者を一人でも雇用している事業主なら必ず加入しなければなりません。

県と福井労働基準局では、10月を「労働保険適用促進月間」と定め、未加入の事業所に対し、早期加入を推進しています。加入については、事業主に代わって事務手続きを行う、労働保険事務組合の事務委託制度があります。

労働保険制度の詳しい内容については、ハローワーク大野（公共職業安定所 ☎66・2408）または大野労働基準監督署（☎66・3838）へお問い合わせください。

### ●里親を求めています

「里親制度」は、家庭的に恵まれない子供を、有志の方に預かっていただき、温かい家庭の中で育てていただく制度です。県では、里親になっていただける人を募集しています。

詳しいことは、県中央児童相談所（☎0776・24・5138）または市福祉事務所家庭児童相談員（☎66・11



### 見えにくい夜は 危険がいっぱい

今から少しずつ、日が暮れるのが早くなっていきます。薄暮時や夜間は暗いにもかかわらず、ドライバーや歩行者は、昼間とあまり変わらない行動をしがちです。つまり「見えているつもり」「見られているつもり」が、事故を招く大きな原因になっています。

★ドライバーは、直進時に右から横断してくる歩行者や自転車をはねるケースが多いようです。走行中は、やや中央より進路をとり、ライトが届く距離内で止まれる速度で運転してください。照射外の安全には、常に注意を払います。

★自転車利用者は、ライトを早めに点灯し、車のドライバーから発見されやすいようにしましょう。

★歩行者は、明るい色の服装や反射材などを、身につけるように心がけてください。道路を横断の際は、車が通り過ぎてから渡るようにしましょう。

11内線477）までお問い合わせください。

### ●難病等特別見舞金 申請は11月5日まで

難病の治療を継続されている方に、特別見舞金が交付されます。該当される方は、期日までに申請してください。

対象者 一年以上市内に住み6カ月以上入院や通院で治療を継続している人

締切日 11月5日（金）

申請先 市保健センター

\*対象疾患名など詳しくは、保健センター（☎65・73

### ●事故や金銭問題など 無料で調停相談

日時 10月14日（土）午前10時～午後4時

会場 大野有終会館

相談員 調停委員7人、裁判所職員2人

相談内容 交通事故や土地建物、金銭、取引、家庭など

問合せ先 大野調停協会（大野簡易裁判所内 ☎66・2120）まで

### ●市民会館の予約申込

平成6年度（平成6年4月1日～平成7年3月31日）に、市民会館を利用する方の予約を次のとおり受け付けます。電話での予約などはいっさい応じません。直接、市民会館まで印鑑を持ってお越しください。（休館日に注意）

受付開始 10月14日（土）午前8時30分より

休館日 毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始

### ●県政バス教室 （産業号）

日時 10月27日（水）午前8時30分にJR大野駅出発

コース JR大野駅～工業技術センター～テクノポルト福井（昼食）～福井石油備蓄～畜産試験場～大野着（午後5時）

参加費 無料

対象 16歳以上で団体行動に支障のない人

定員 先着52人

### ●大野准看護学院の 入学生募集

あなたも准看護婦（士）を目指しませんか。大野准看護学院では、次のとおり入学生を募集しています。

人員 男女あわせて15人

資格 中学卒業以上

入学試験 第1次 10月20日（土）午前9時 第2次 12月3日（金）午前9時

試験科目 国語・理科（生物）・面接

修業年数 2年

申込先 大野准看護学院（篠座117-6-1 ☎66・4671）

\*受験手続きや履修方法など詳しいことは、大野看護学

「はい！年金」受ける備えは20歳から

10月は「国民年金制度推進月間」

国民年金は、「世代と世代の支え合い」と言われています。若い世代が保険料を負担することにより、その時代のお年寄りの生活を支え、自分たちが年をとった時には次の若い世代に支えられるというしくみで成り立つ制度です。

このため、国内に住んでいる20歳以上60歳未満の方は学生さんも含め、必ず国民年金に加入することになっています。

10月は、「国民年金制度推進月間」です。皆さんも、この機会に国民年金の目的やしきみについて、またご自身やご家族の方の年金についても見直してみたいかがで

しょうか。

●年金の無料相談

年金の無料相談が次のとおり開かれます。ご利用下さい。

- 10月12日(火)午前10時～午後3時  
大野織物工業協同組合
- 10月24日(日)午前10時～午後4時  
下庄まつり会場
- 10月30日(土)午前10時～午後4時  
JAフェスタIN上庄
- 11月6日(土)・7日(日)  
午前10時～午後4時  
大野産業フェア会場  
(大野有終会館)

●独身男性対象に  
「花婿講座」を開催

下庄公民館では、将来のすてきなヤング・パパになるための「花婿講座」を次のとおり開催します。

対象 30歳未満の独身男性  
会場 下庄公民館  
受講料 3000円(料理の材料費など)

内容 ▼料理教室(10月30日  
①午後7時・12月12日②午

●契約や遺言は  
安全な公正証書で

公正証書は、裁判官や検事  
法務局長などを務めた法律家  
の中から、法務大臣が任命し  
た国の機関です。

後3時・2月13日③午後3  
時)▼雪囲い講習会(11月  
14日④午前10時)▼子育て  
講習会(1月14日⑤)▼エ  
イズ講習会(3月の予定)

●市総合文化祭  
展示作品を募集中

市教育委員会では、11月1  
日から3日まで開かれる市総  
合文化祭の展示作品を広く募  
集しています。

募集作品 洋画・日本画・書  
道・工芸・その他(規格は  
自由)

申込方法 10月15日までに市  
教育委員会社会教育課に備  
え付けの申込用紙で応募

●行政への要望や苦情は  
行政相談委員へ

毎日の暮らしの中で、役所  
や公団などが行っている仕事  
に対して、苦情や意見、要望  
はありませんか。

毎月、第1と第3木曜日に

に従って作成した、公正で証  
拠として最も確実な証書です。  
後日のトラブル予防にも役立  
ち、当事者双方にとっても安  
心な証書です。特に、遺産相  
続のための遺言公正証書作成  
手続き、新しい借地借家法に  
よる各種土地賃貸借契約など  
に関する公正証書作成手続き  
にお勧めします。

詳しくは、福井公正証人合同  
役場(福井市中央3-1-14  
三谷ビル別館3階☎0776・  
22-1584)までお問い合わせ  
わけください。

●フリーマーケット  
出店者を募集中

「下庄まつり」の一環とし  
て、フリーマーケットのコー  
ナーが設けられます。

家庭などに眠っている不要  
品を、必要としている人に安  
価で販売するというリサイク  
ル運動の一つです。出店方法  
は次のとおりです。

販売方法 主催者が用意した  
テント内に品物を持参し、  
各自で値段をつけて販売

売値の目安 ▼入手1年以内  
で未使用⇨価格の3分の1  
▼入手1年以内で使用済み  
⇨価格の4分の1以下▼そ  
の他⇨5分の1以下

販売できない品物 故障品、  
生き物、盗品、酒、たばこ  
化粧品

申込方法 10月18日までに  
出店料200円を添えて下庄  
公民館まで

出店日時 10月24日①午前9  
時②午後3時

問合せ先 下庄まつり実行委

●第9回奥越産業フェア

日時 10月9日①・10日②午  
前10時～午後5時

会場 奥越地場産業センター  
(勝山大仏前)

内容 ▼地場産業総合展示、  
特産品即売会、山草展示会  
(2日間)▼食と文化の交  
流ーアジア家庭料理の実演・  
試食会・原価販売、アジア  
民芸品販売会(2日間)午前  
11時～午後2時)▼ファッ  
ションショー(10日午前11  
時～午後1時)▼天地総子  
トークショー(10日午後3  
時)▼一日保健所健康サ  
ビスターー基本検診、腹部  
エコー、健康相談(10日)

員会事務局(下庄公民館☎  
66・2142)まで

越美北線ダイヤ

10月1日から一部改正

越美北線のダイヤが、一部改正されま  
す。大野発の福井行きの改正は、19:53  
分が19:51分に変更の一便だけ。福井発  
の改正はありません。

## 市民のうごき

	9月1日現在	前月比
世帯数	11,334世帯	△6世帯
人口	41,862人	△6人
	男 20,019人	△6人
	女 21,843人	0人
8月中の異動	転入 37人	出生 44人
	転出 63人	死亡 24人

## 市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成5年 8月末	平成4年 8月末	増減
総件数	347件	322件	25件
人身事故	86件	98件	△12件
	死者 3人	8人	△5人
傷者	123人	136人	△13人
物損事故	261件	224件	37件

## 表紙のいじり

毎年、9月15日に稲郷の八幡神社で奉納される里神楽。一六八一年ごろ、村人の安全と五穀豊穡を感謝する神事として始まったとされています。当日は好天に恵まれ、天狗や獅子、農家の夫婦に扮した若者が、汗びっしょりになりながら、伝統芸能を舞いました。

## 編集後記

何年ぶりかで実施された市政バス。新設の公共施設を訪問し、その充実ぶりに驚いておられました。紙面でも、その都度写真で紹介していますが、百聞は一見にしかずで、やはり自分の目で確かめるのが一番。二回目の市政バスの申し込みをお待ちしています。



今年三月から一年間、大野高校で学んでいるアンドレアス・クングベリ君はスウェーデン出身で、初めての北欧からの留学生です。彼の住むストックホルムは人口百五十万人で、札幌とほぼ同じ人口です。テニスや水泳のほかスキーやアイスホッケーも得意です。彼がホームステイをしているのは、三年前にクウェートの日本人学校で勤務された山村宗武先生宅(柿ヶ島)です。都会育ちの彼は、田舎の自然豊か

## 187 ホーム・ステイ

いのが大きな違いと話していました。現在、福井県に滞在しているAFS(高校生の交換留学を行うアメリカの民間機関)留学生は、彼を含めて四名です。今年の夏休みは、家族と金沢へ、長野と名古屋へは、留学生を訪ねて旅行。九月には勝山市の留学生と、白山登山もしました。国際化時代を迎えて、大野市でどの



な体験をしてもらうかは、学校やホスト先だけでなく、市民全体の責任でもあるように思います。今月に行われる九州への修学旅行を楽しみにしていますが、将来は大学に進学して経済を勉強したい彼に、大野市のことをもっと深く知ってもらいたいものです。



吉野谷村といえ石川県の白山スーパー林道沿いの小さな村である。最近村おこしの一環として洋蘭の栽培に力を入れ

ている。この村の中に、村営のすばらしい公衆トイレがある▼スウェーデン・オーストリア・ドイツ・フランスなどから輸入した便器と洗面台。中にはライオンの顔を彫刻したもののや花模様の入った便器もあり、西洋の豪華なトイレがそろっている感じである▼冷暖房が完備されており気持ちがいい。誰でも気軽に利用できるし、もちろん無料である▼観光地や行楽地と名のつく所は、数多くあるが、トイレは片隅にあって清潔でないところが少なくない。白山麓の小さな山村が、並外れてぜいたくなトイレを設けていることには、反感どころか好感の方が、いづまでも心に残る▼トイレ文化ということばがあるように、単に排泄の用が足せばそれでよいという認識の時代ではなくなってきた。「無用の用」ということであろうか、一見せいたく過ぎて無駄と考えられるものが、実は市民や外来者の心に、一時の安らぎを与える空間になっている。こうした気配りが、これからの環境整備には求められると思う▼大野に通ずる国道沿いを走るたびに、あのすばらしい村営の公衆トイレを思い出している。これからの国道整備計画にあたっては、こうした配慮を期待したいものである。(A)